

島根県優良工事 特別表彰（ICT技術）の紹介

受賞者名

カナツ技建工業（株）

工事担当者名

村松 竜也

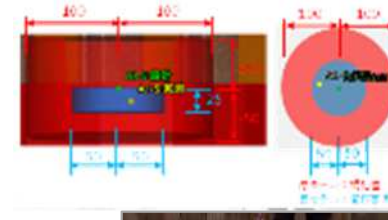
No. 11

■ 概 要

表彰年度	令和8年度
工 種	橋梁下部工、土工
事務所名	松江県土整備事務所
工 事 名	中川 大規模特定河川工事 第5期
工事概要 (下線はICTを活用した工種)	工事延長L=90.8m ・法覆護岸工(ブロック積工) A=41m² ・逆T式橋台 N= 2基 ・既製杭(中掘工法) N= 6本 ・PC単純床版橋 N=1橋 ・排水構造物工 N=1式 ・路床盛土 V=57m³ ・路床安定処理工 A=361m²

■ 状況写真、ICT活用効果

規格値の3次元化とAR技術による合理的な出来形管理（規格値スペース、プレート）



アナログ手法の従来の出来形確認作業と異なり、読み間違いや確認漏れ、精度等への不安を完全に排除し、**若手技術者でも迅速かつ正確な判断ができる環境を確保できました。**



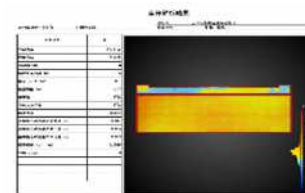
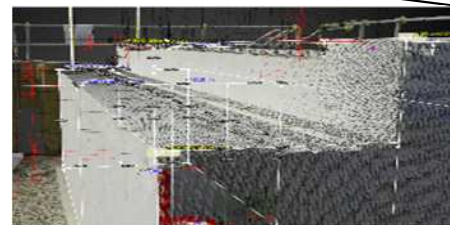
基準高や偏心等の規格値を3次元モデル(規格値スペース、規格値プレート)により可視化、この3次元モデルをモバイル端末を用いて、AR技術により現地に再現することで、**出来形が可視化され、デジタルデータによる視覚的、直観的、合理的な出来形管理が実現できました。**

特定の条件に依存しない汎用性の高い**デジタル技術**の活用手法として評価され、国交省の「出来形管理要領(案)」に新規追加されました。

3次元計測技術を用いた出来ばえ評価（Co構造物）と距離(寸法)算出による出来形管理



3次元計測データ上で寸法計測を行い、また、遠隔臨場によるバックオフィスでの計測も可能とすることで、**安全かつ効率的に管理可能となり大幅な省力化を実現できました。**



地上レーザースキャナーによる3次元計測データと設計データとの差分解析により、**コンクリート構造物の出来ばえを評価し、出来形管理の最適化が図れました。**

